

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

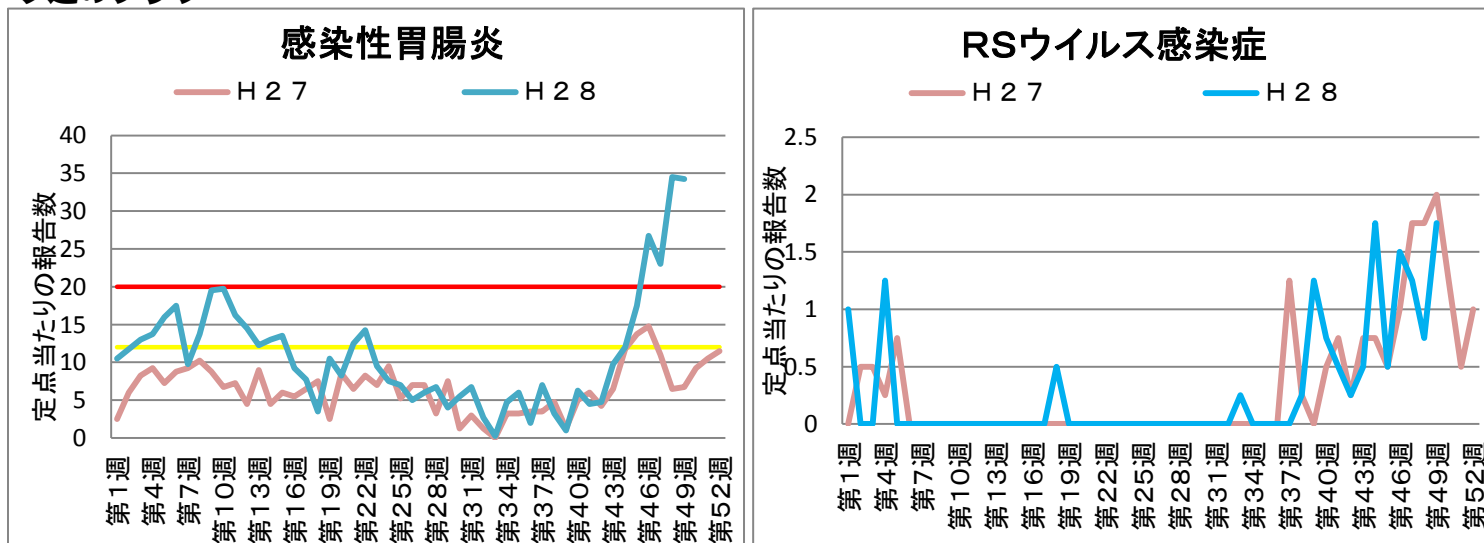
第 49 週 平成28年12月5日 ～ 平成28年12月11日

## 今週のコメント

○ 感染性胃腸炎の流行が続いています(定点あたり34件)。近年流行していたノロウイルスの主な遺伝子型はGII.4でしたが、今シーズン流行している遺伝子型は近年あまり検出されていなかったGII.2型です(国立感染症研究所)。免疫を持たない子ども達の感染が保育所や幼稚園で見られています。通常は1～2日で治りますが、子どもや高齢者では重症化する場合があります。①手洗い(トイレの後、食事の前などにしっかりと石けんと流水による手洗い) ②食中毒の予防(食品の加熱など) ③適切な嘔吐物・便の処理(塩素系消毒薬による消毒)を心がけ、感染拡大を予防しましょう。

○ インフルエンザも定点あたり1件を超え、乙訓地域も流行期に入りました。RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、溶連菌感染症、水痘も増加しているので注意しましょう。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	1.43	手足口病	-
RSウイルス感染症	1.75	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	2.5	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	34.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	2	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

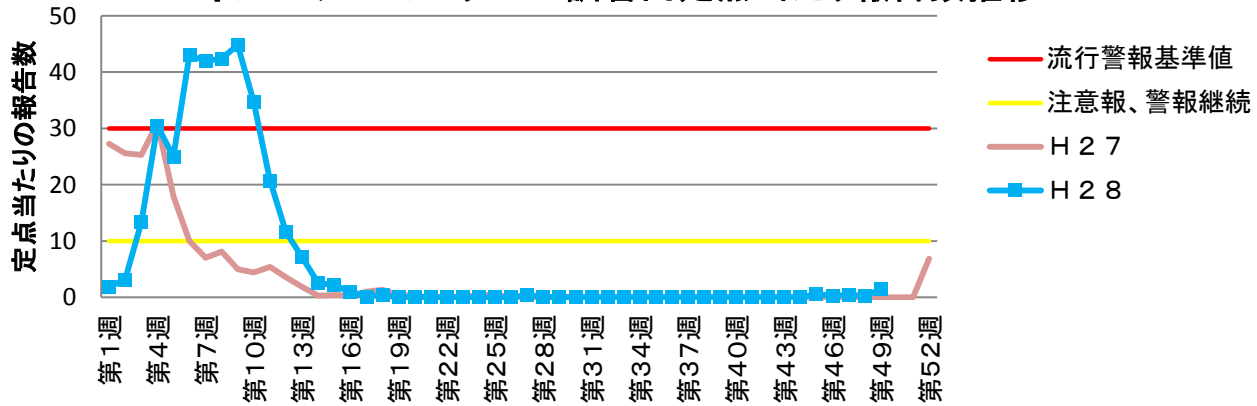
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

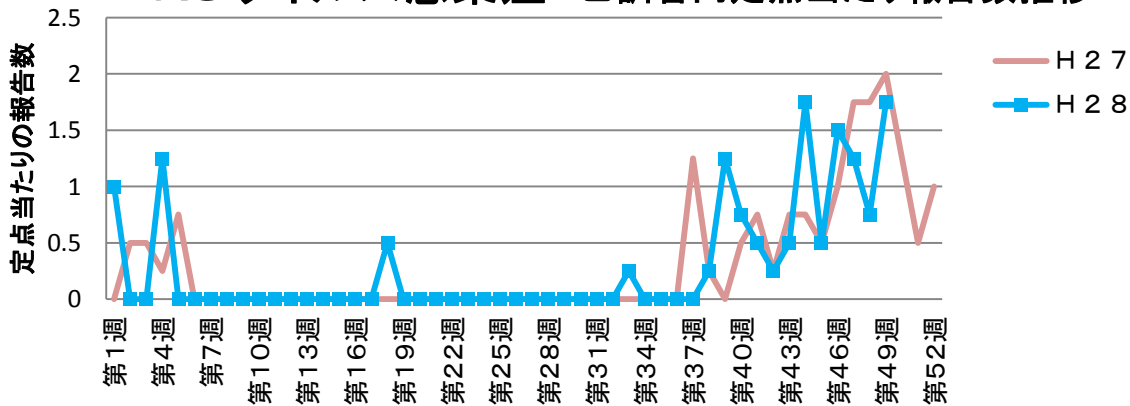
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

## 定点報告による各疾病の推移

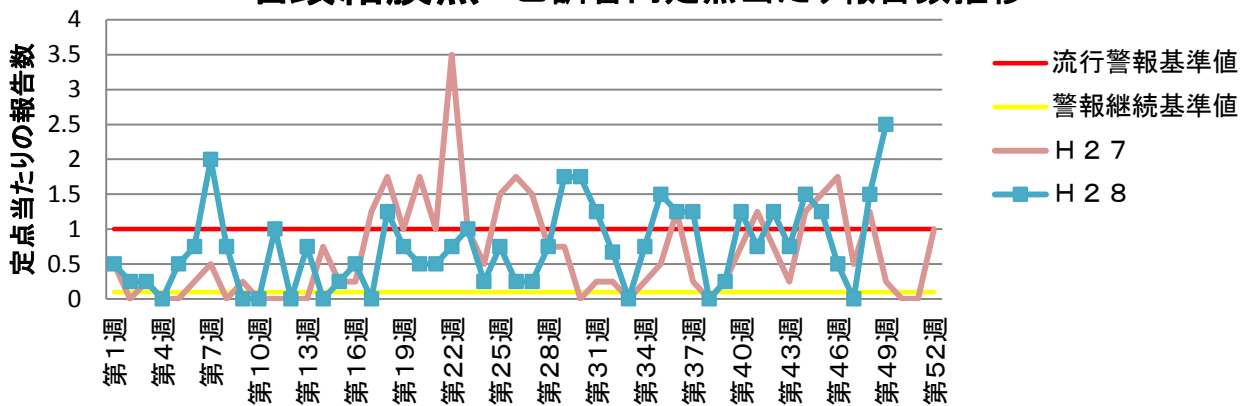
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



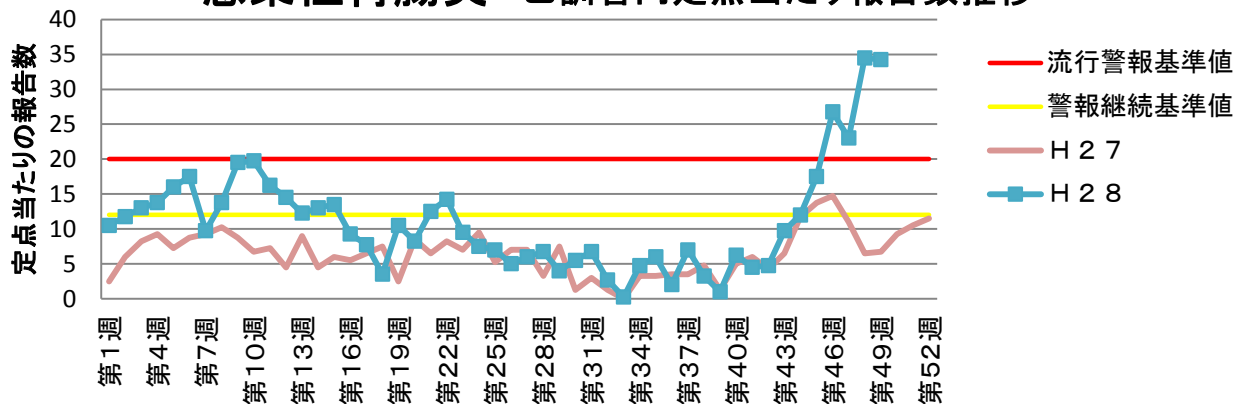
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



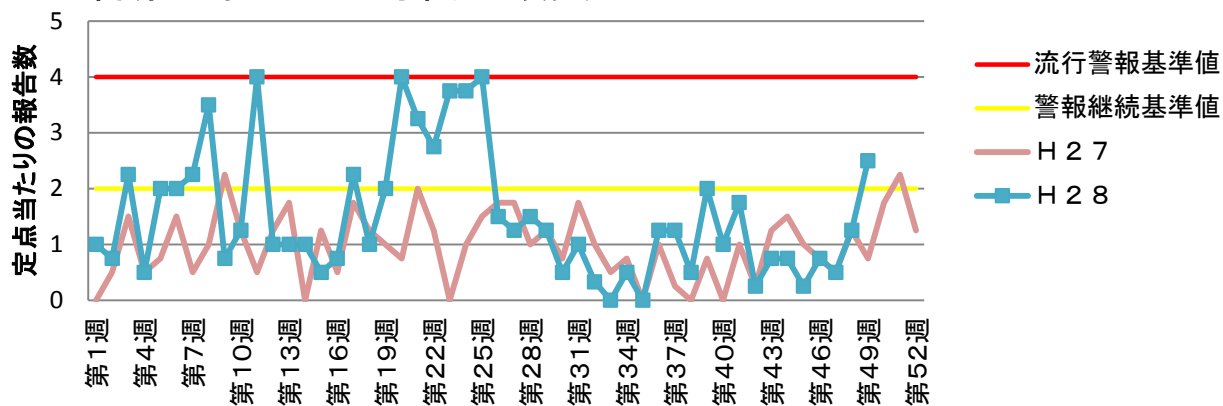
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



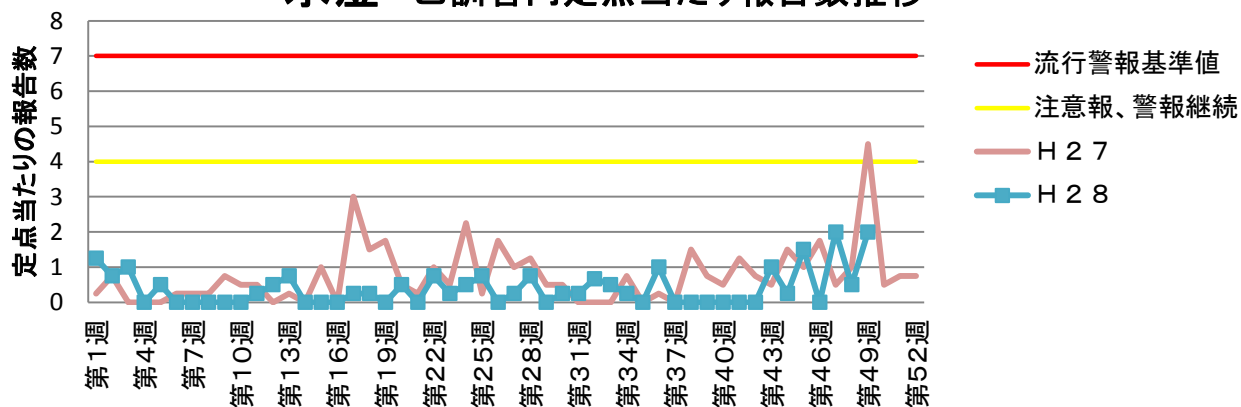
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



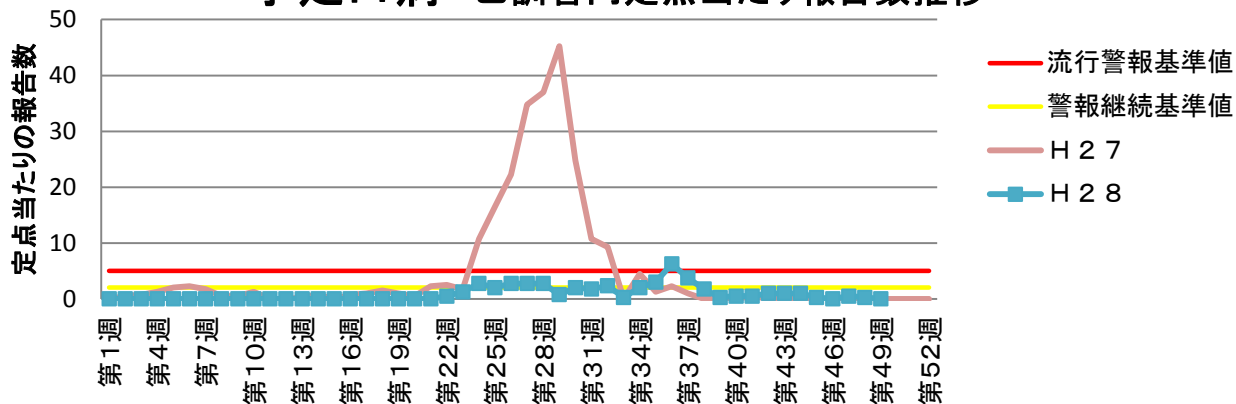
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



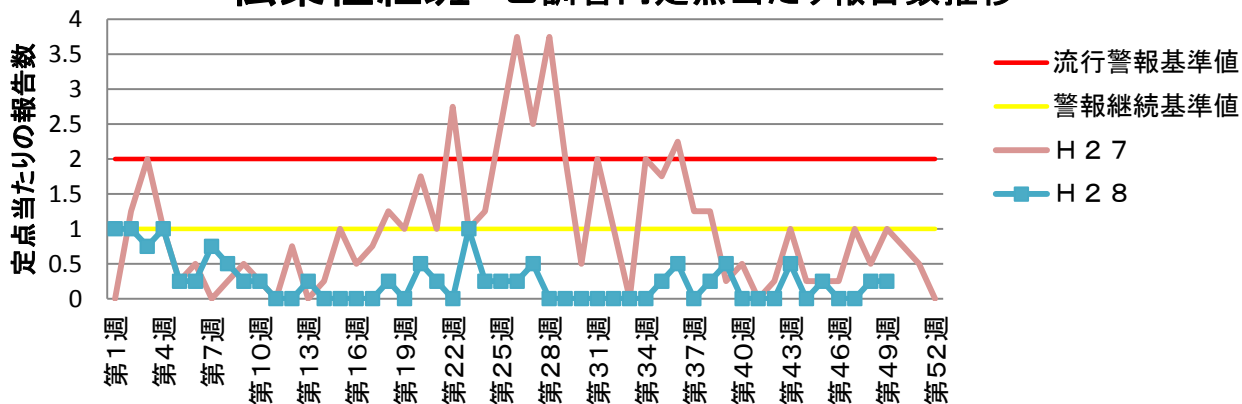
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



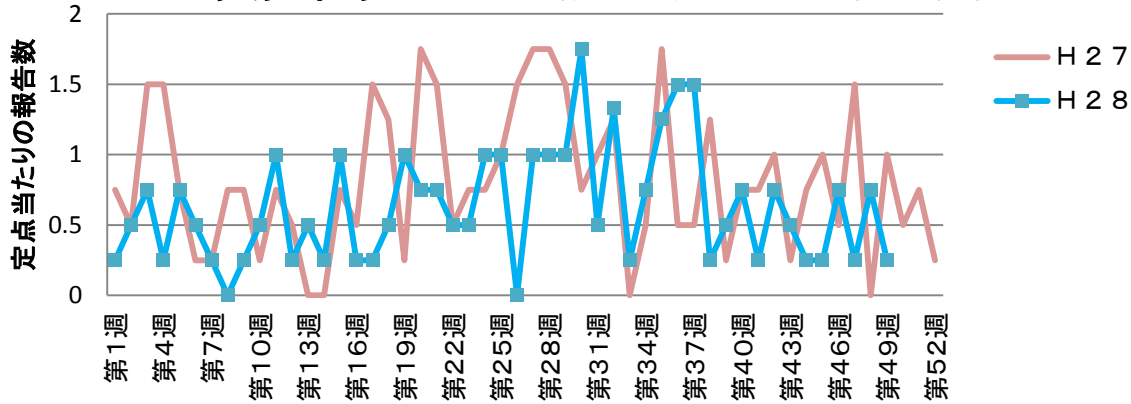
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



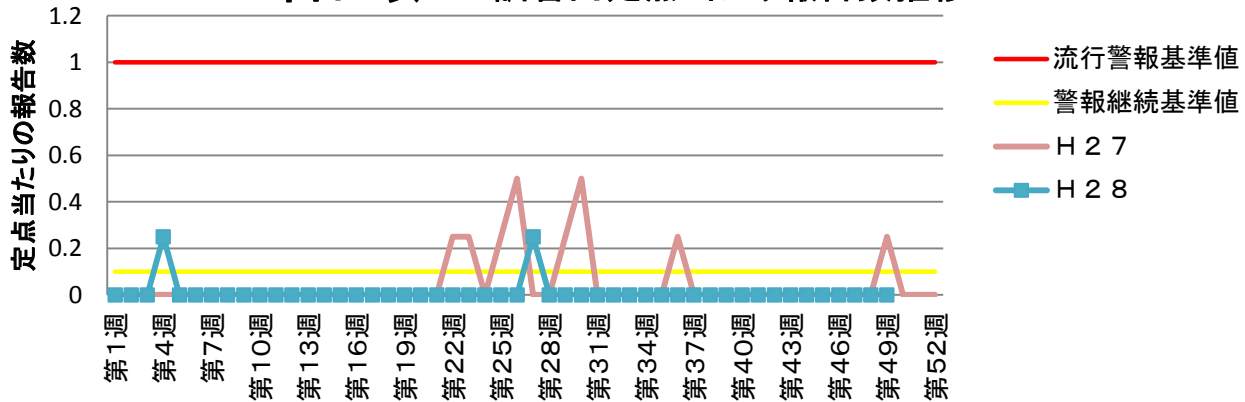
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



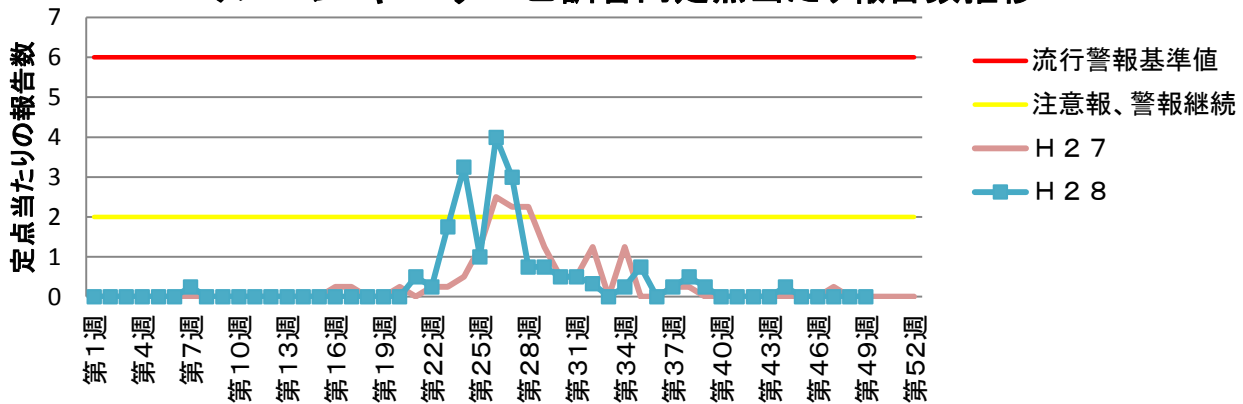
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

